



●緑色は別名

《目次》	1
ソープワート	2
ソシンロウバイ	3
ソノウサイシン	4
ソノサトキザクラ	5
ソバ	6
ソバナ	7
ソメイヨシノ	8
ソヨゴ	9
ソラナム・ラントネッティ	10
ソルガム	11

【花期 5～9月】



八重咲き

2018.10.19長野



ソープワート 花色は淡紅色、桃色、白色【78】

2015.6.22須坂

ソープワート — 〈ナデシコ科サボンソウ属〉

ヨーロッパに広く分布。明治時代の初めに薬用植物として渡来。今では一部で野生化した多年草。地下茎をのばして広がる。茎は直立か斜上。高さ30～90cm。葉は対生、長さ5～10cm、3脈が目立つ。茎先や上部葉腋から短い柄を出し、まとめて花をつける。花は径2～3cm、萼筒5裂、花弁5個、雄しべ10個。【18】【58】【77】【78】【80】

■英名Soapwort。【58】 ■和名はサボンソウ。「サボン」はシャボンが訛ったもの。【58】
■葉や茎、根には石鹸の成分である「サポニン」が含まれるため、30分以上煮出すと石鹸液ができる。ただし、根は有毒なので注意が必要。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ソープワート			○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○			

A close-up photograph of yellow winter jasmine flowers (Jasminum nudiflorum) blooming on bare, woody branches. The flowers are bright yellow with five petals and prominent stamens. Some flowers are fully open, while others are still in bud form. The background is a soft, out-of-focus mix of brown and green, suggesting a natural outdoor setting.

2011.2.8天竜峡



2011.2.7坂城



2006.3.16坂城

■**ロウバイ**は内側の短い花弁(花被片)が暗赤紫色～暗紫色。[4][25]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ソシンロウバイ	  										  	

【花期 3~4月】



ソノウサイシン 花 常緑の多年草[2]

2005.5.3戸隠森林植物園



葉 ミチノクサイシンの葉は、先が円頭、斑紋はない【64】 2004.5.8戸隠森林植物園

ソノウサイシン 園生細辛 〈ウマノスズクサ科カンアオイ属〉

本州の北部と中部の山地に自生するミチノクサイシンの変種で、栽培品といわれている。草丈は8cm。葉は腎円形、先は凹む、斑紋がある。花は紫黒色、径1.5cm。[2]

■名の園生は、庭園に栽培されることを意味している。
細辛はウスバサイシン類の漢名。[2]

●戸隠森林植物園の、**ウスバサイシン**の隣に、一年中この葉があった。毎年GWに出かけて行き、葉の下を覗きこむのだが、花はいつもなかった。2002年4月28日、訪ねると葉もなかった。枯れたのではない。根こそぎ掘り起こされて持ち去られたのだった(写真右)。

[illegible]

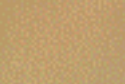
A close-up photograph of a flowering cherry branch in the foreground, with a traditional Japanese castle (Himeji Castle) visible in the background under a clear blue sky.

2015.4.25上田城跡公園

2001(平成13)年に、須坂市豊丘の海拔730m地点で発見された新品種。黄花の八重咲き。【上田城跡公園の名札】

[illegible]

A wide-angle photograph of a vast field of white flowers, likely buckwheat, stretching towards a line of green trees. In the background, a range of mountains is visible under a bright blue sky with scattered white clouds. The field is densely packed with the flowers, creating a textured, white and green surface.

[illegible]

【花期 8～9月】



ソバナ

2003.8.21軽井沢



花

2002.8.21上高地



花・果実

1999.8.31鬼無里

ソバナ 蕎麦菜 〈キキョウ科ツリガネニンジン属〉

山地の林の中に生える多年草。高さ50～100cm。葉は互生、下部有柄、上部短柄または無柄、卵形または楕円状卵形、長さ5～10cm。ふちに粗い鋸歯。疎らな円錐花序に青紫色の花が下向きにつく、萼片披針形、全縁、花冠鐘形、長さ2～3cm、先5裂、雄しべ5個、花柱は花冠より突き出ないことが多い。[3][7][18][32][42]

■ソバナは食べられる植物を広く呼ぶ言葉で、ソバは唄と書き、山の険しい崖のこと。[32]

■花柱の基部は黄赤色の基盤にとりまかれる。柱頭3浅裂。[32][42]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ソバナ						●●	●					

【花期 3~4月】落葉高木



ソメイヨシノ 花は葉に先立ち、淡紅色【4】

2004.4.15小諸懷古園



花

2003.4.15更埴



葉筒・小花柄

2003.4.15更埫



葉の鋸歯・蜜腺

2002.6.11長野

ソメイヨシノ 染井吉野〈バラ科サクラ属〉

オオシマザクラとエドヒガンの雑種。観賞用として広く栽培されている。高さ7～15m。樹皮は暗灰色、横に裂ける。葉は互生、広倒卵形または広卵状楕円形、長さ7～10cm、先は急に尖り、ふちに重鋸歯、葉柄上部に蜜腺2個。花は葉に先立ち、2～5個散形状、径4～4.5cm、小花柄に毛、萼筒は狭長壺形、毛あり、萼片5個、鋸歯あり、花弁5個、雌しべ1個、花柱の下部に毛。〔4〕〔18〕〔37〕

■東京染井村の植木屋から広まる。単に吉野では山桜と混同するので染井吉野に。[18]

[illegible]

【花期 6～7月】 常緑小高木～高木



雄花

2005.6.9富士見



雌花

6弁花もあり

2005.6.9富士見



ソヨゴ 果実 果柄3～4cm【4】

2003.10.20軽井沢／円内2001.10.31八坂

ソヨゴ 冬青 別名フクラシバ〈モチノキ科モチノキ属〉

山地に生え、高さ5～10m。樹皮は灰褐色で滑らか。葉は互生、卵状楕円形、長さ4～10cm、全縁、ふちは波うつ、革質、表面に光沢。雌雄異株。葉腋に径約4mmの白い花を開く、雄花は集散花序に多数、雌花は1個または2～3個、萼片4個、花弁4個、雄しべ4個。果実は核果、球形、径6～9mm、赤く熟す。【4】【18】【37】【48】【49】

■名は、戦(そよ)ぐと言う意で、硬い葉が風に揺れてザワザワ音をたてることから。【18】

■葉から褐色の染料を採り、材で算盤珠(そろばんだま)などをつくる。【5】

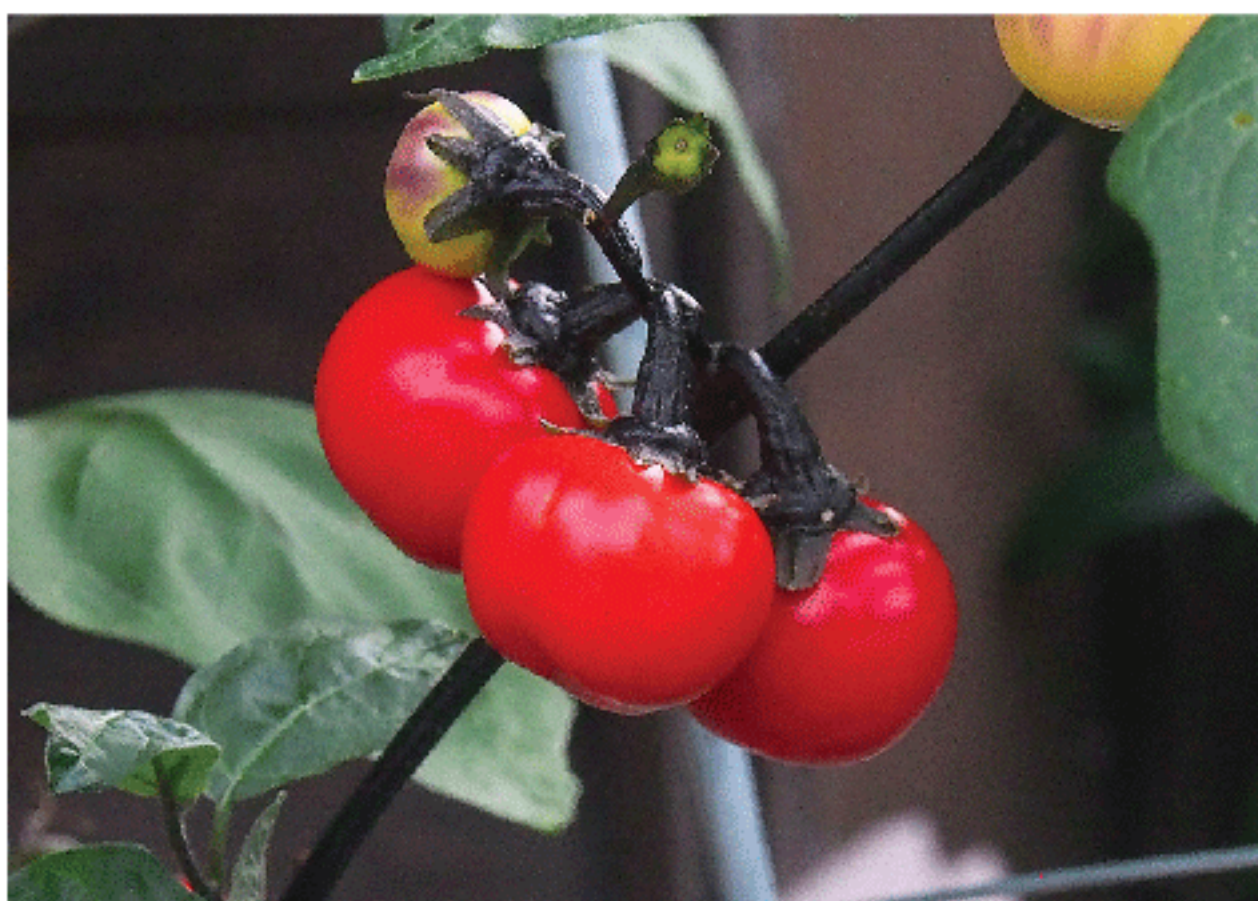
花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ソヨゴ				○	○							

【花期 5～11月】 常緑小低木～低木



花

2016.9.11妻籠



ソラナム・ラントネッティ 実

2016.9.11妻籠

ソラナム・ラントネッティ ———— 〈ナス科ナス(ソラナム)属〉

ねったい 熱帯アメリカ、みなみ 南アメリカ原産。たか 高さ20～240cm。は 葉は互生、だ 楕円形～卵形、濃い緑色、小さい。はな 花は暗い青色～紫色、中心部は黄色。【58】【83】

- 学名 *Solanum rantonnetii*。【58】
- 別名 観賞用ナス、ソラナム、ソラナム。【58】【78】
- ソラナムの名は園芸で用いられるナス科の花の総称にもなっている。【83】
- 温度さえあれば一年を通して花を咲かせる。【58】
- ミニトマトのような可愛い果実をつける。【78】
- 通称でハナナスとも呼ばれるらしい。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ソラナム・ラントネッティ							●					

2009.9.16長野

熱帯アフリカ原産の**ソルガム**の一種。1年草。天正年間に渡来。
畑に栽培される。茎は直立、円柱形、単一、高さ2m内外、節がある。葉は互生、長さ50～60cm、幅6cm位、下部は長い鞘。花は茎頂に密集、円錐花序。果実は9月～10月頃赤褐色に熟す。粘り気のあるもち種で、製粉して団子や餅などに利用される。[18][58]

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
タカキビ													